

DISCLOSURE 2023.6

2023年度第1四半期(2023年4月1日～6月30日)における経営情報を開示します

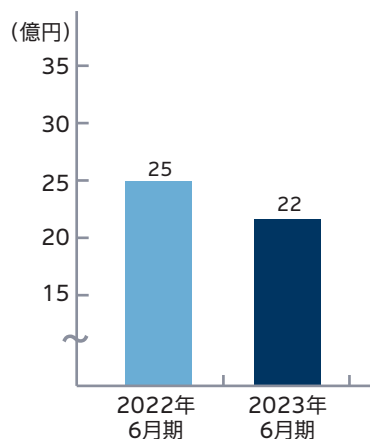
(注)この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数については、会計監査人による監査を受けていません。数値は原則単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとの合計の数値が一致しない場合があります。なお本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

西武信用金庫

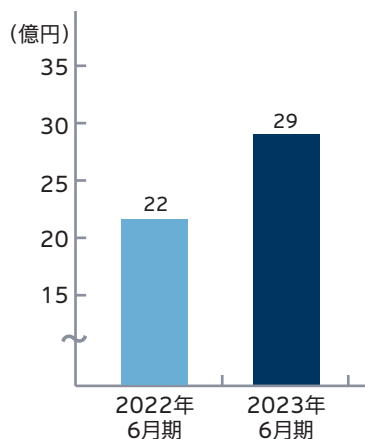
損益の状況

コア業務純益は22億円、経常利益は29億円、当期純利益は20億円を計上し、堅調に推移しました。

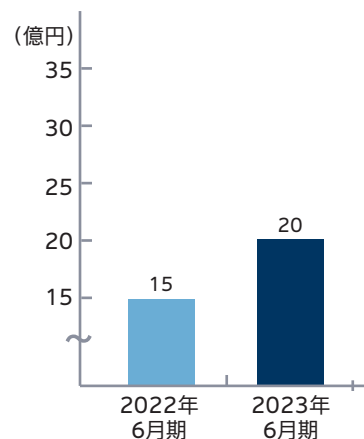
●コア業務純益 22億円



●経常利益 29億円



●当期純利益 20億円



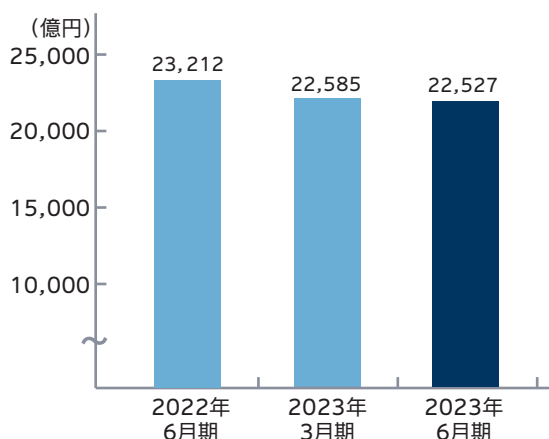
(単位:億円)

	2022年6月期	2023年6月期	前年同期比
コア業務純益	25	22	△2
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	25	22	△2
経常利益	22	29	7
当期純利益	15	20	5

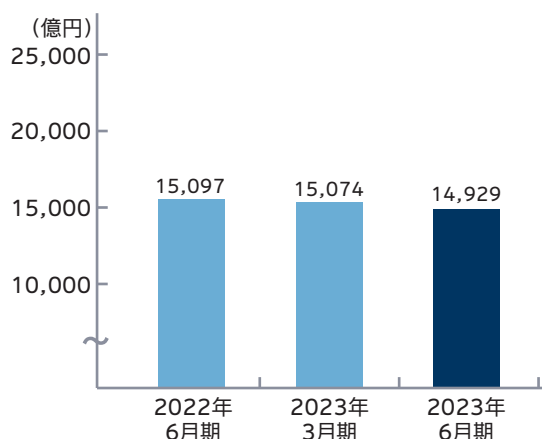
預金・貸出金の状況

預金残高は、前年同期比で685億円減少し、2兆2,527億円となりました。貸出金残高は、前年同期比で167億円減少し、1兆4,929億円となりました。

●預金残高 2兆2,527億円



●貸出金残高 1兆4,929億円



(単位:億円)

	2022年6月期	2023年3月期	2023年6月期	前年同期比
預金残高	23,212	22,585	22,527	△685
貸出金残高	15,097	15,074	14,929	△167
預貸率	65.03%	66.74%	66.27%	1.24ポイント

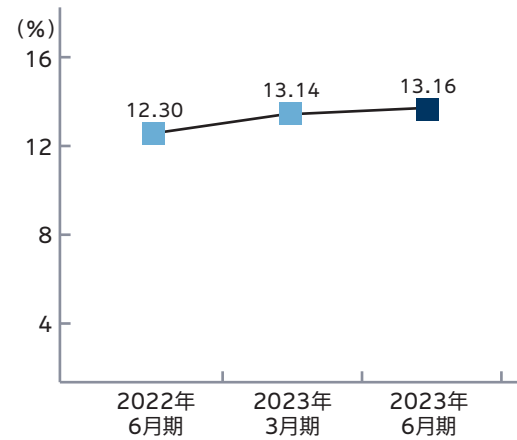
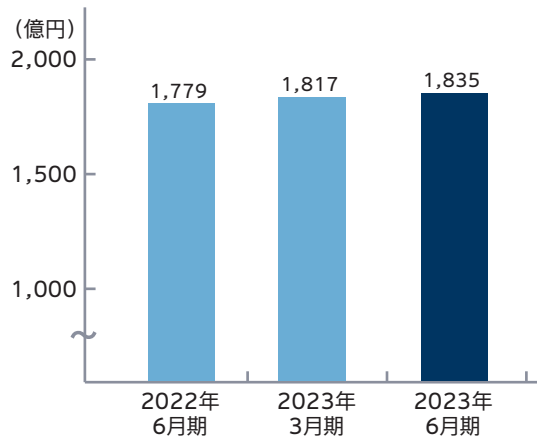
自己資本の状況

(国内基準)

自己資本の額は、利益等の積み上げにより前年同期比で56億円増加し1,835億円となりました。自己資本比率は、前年同期比で0.86ポイント上昇し13.16%と金融機関の健全性を示す国内基準4%を大きく上回っています。

●自己資本の額 1,835億円

●自己資本比率 13.16%



(単位:億円)

	2022年6月期	2023年3月期	2023年6月期	前年同期比
自己資本の額	1,779	1,817	1,835	56
自己資本比率	12.30%	13.14%	13.16%	0.86ポイント

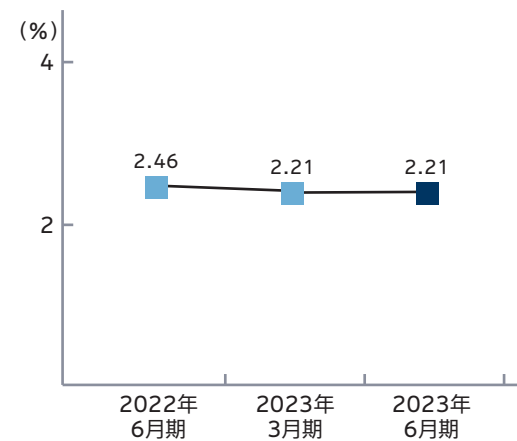
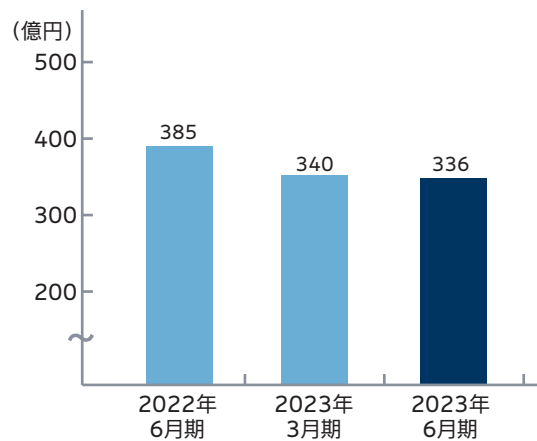
不良債権の状況

(金融再生法開示債権)

不良債権残高は336億円となり、不良債権比率は2.21%と低水準を保っています。

●不良債権額 336億円

●不良債権比率 2.21%



(単位:億円)

	2022年6月期	2023年3月期	2023年6月期	前年同期比
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	52	37	32	△20
危険債権	316	286	286	△30
要管理債権	16	16	17	1
不良債権合計	385	340	336	△49
不良債権比率	2.46%	2.21%	2.21%	△0.25ポイント

有価証券の評価損益

有価証券の評価損益は、前年同期比で40億円増加しました。

(単位:億円)

	2022年6月期		2023年3月期		2023年6月期		前年同期比	
	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益
株式	75	19	91	35	98	42	23	22
債券	84	0	92	0	96	0	11	0
その他	841	7	1,074	14	1,193	24	352	17
合計	1,001	27	1,258	49	1,388	67	387	40

(注) その他＝投資信託・優先出資・外国証券・投資事業有限責任組合契約等への出資・買入金銭債権